

日本うつ病学会主催

第3回世界双極性障害デーフォーラムプログラム

【開催趣旨】

第3回世界双極性障害デーフォーラムでは、家族の立場からお二人の方(ノーチラス会理事)からお話をいただいた後、双極性障害委員長である加藤忠史より、「双極性障害研究の現状～真のリカバリーのために」と題して、双極性障害の病状を可視化する診断法の開発、維持療法と再発のリスクについてのエビデンス、再生医療等の根治療法を含めた根本治療法の可能性などについて講演する。そして、双極性障害による入院経験を持つ芥川賞作家の絲山秋子さんをお迎えして、「双極性障害完治を目指して」とのご講演をいただく。絲山さんには、これまでの双極性障害体験や、主治医との協働意思決定による薬物療法の終結に至った経緯、その後1年経過しての心情などをお話いただく。講演終了後、絲山さん、加藤による質疑応答を行う予定である。また、フォーラム終了後には、当事者お二人と絲山さん、加藤が登壇して、記者会見を行う予定である。

なお、フォーラムの参加は事前登録制で、事前登録時に、二人への質問を受け付け、質疑応答ではそれに答えると共に、当日も質問用紙を配って、良いものをピックアップして取り上げる予定です。
(加藤 忠史)

(プログラム)

時間	演者	内容
13:00	加藤 忠史	講演1 開会のご挨拶
13:05	辻 松雄	家族の立場から
13:20	虹渡 えつ	家族・当事者の立場から
13:35	加藤 忠史	講演1 双極性障害研究の現状 ～真のリカバリーのために
14:10	休憩	
14:20	絲山 秋子	講演2 双極性障害完治を目指して
15:00	質疑応答	絲山さん、加藤さん
15:30	講演会終了	
15:30	記者会見	絲山さん、加藤さん、虹渡さん、辻さん
16:00	終了	

(ノーチラス会誌3月号(編集中)より抜粋)